

社説

うそ電話詐欺

地域全体で防犯強化を

うその電話をかけて現金をだまし取る特殊詐欺の被害額が、昨年1年間に301億5千万円に上ったことが、警察庁のまとめ(暫定値)で分かった。被害額は5年連続で減少したものの、8年連続で300億円を上回った。鹿児島県内の被害額は前年より約5千万円減の1億2774万円、認知件数は10件減少し46件だった。

全国的に減少傾向とはいえ、依然深刻な事態が続いている。高齢者を狙った卑劣な犯罪の根絶に向け、これまで以上に啓発活動に力を入れたい。

手口別で被害額が最多だったのは、息子や孫をかたる「おれおれ詐欺」で約111億円。有料サイトの利用料金名目などの「架空請求詐欺」が約97億円で、これら二つの手口で被害額全体の7割近くを占めた。

急増しているのが、警察官や金融機関職員などを名乗って信頼させ、キャッシュカードを盗み取る「詐欺盗」で

ある。被害額は前年より2・8倍増の52億1千万円に上った。

手口はこうだ。犯人は電話で「キャッシュカードが不正に使用されている。これから職員を確認に向かわせる」と説明する。自宅を訪れた犯人の仲間が「カードと暗証番号を書いたメモを封筒に入れて保管するように」と指示、隙をみて持参した別のカード入りの封筒とすり替えて盗む。

その後、犯人は現金自動預払機(ATM)で現金を引き出す。被害者は手元にカードがあると思いついて、ため、気づくのが遅れるケースが多いという。

県内でも同様の手口で被害が出ている。80代女性が昨年8月にカード3枚を盗まれ、約119万円が引き出された。2年前には1人暮らしの80代女性が1200万円をだまし取られた。

電話担当、回収担当と役割分担するなど、詐欺グループの手口は巧妙化し

ている。被害を防ぐためには「キャッシュカードを他人に渡さない」「暗証番号を教えない」ことが重要である。五輪や災害義援金など社会の出来事に便乗したり、年金還付や給付金を口実にして金品をだまし取ったりするケースも相次ぐ。電話で資産状況や現金の保管場所を聞き出す「予兆電話(アポ電)」は全都道府県で確認され、東京などでは強盗被害も出ている。

不審な電話やメールがあった場合は詐欺を疑い、1人で判断する前に家族や警察に相談することが大事だ。県警は留守番電話や、かけてきた相手が確認できる番号表示機能などの活用を勧めている。

1人暮らしの高齢者には、近所の住民がこまめに声をかけたい。地域内で怪しい電話があれば、閲覧板などで注意を呼びかけるのも有効である。地域全体で防犯意識を高めることが欠かせない。

社説を読み解く
(中学校・国語)

()中学校()年()組
氏名()

【問1】うそ電話詐欺による鹿児島県内の被害額はいくらですか。

【問2】被害額の多かった手口を二つ書きなさい。

() ()

【問3】被害を防ぐために重要なことを二つ書きなさい。

()
()

【問4】地域で取り組めることとして、どのようなことが挙げられていますか、二つ書きなさい。

()
()

【問5】うそ電話詐欺を防ぐためにどのようなことができますか、あなたの考えを書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説 特殊詐欺(とくしゅさぎ) 被害(ひがい) 暫定(ざんてい)=はっきり決まるまで、仮に決めておくこと 傾向(けいこう) 依然(いぜん) 高齢者(こうれいしゃ) 狙(ねら)った 卑劣(ひれつ) 啓発(けいはつ)=気づいていないことを教え、みちびくこと 架空(かこう) 請求(せいきゅう) 占(し)めた 金融(きんゆう) 信頼(しんらい) 盗(ぬす)み 盗(とう)封筒(ふうとう) 隙(すき) 替(か)え 預払機(あずけばらいき) 思(おも)い込(こ)んで 遅(おく)れる 巧妙(こうみょう) 渡(わた)さない 義援(ぎえん) 還付(かんぷ)=行政などが、本来の持ち主に返すこと 状況(じょうきょう) 不審(ふしん) 勧(すす)め 怪(あや)しい



社説

うそ電話詐欺

地域全体で防犯強化を

うその電話をかけて現金をだまし取る特殊詐欺の被害額が、昨年1年間に301億5千万円に上ったことが、警察庁のまとめ(暫定値)で分かった。被害額は5年連続で減少したものの、8年連続で300億円を上回った。鹿児島県内の被害額は前年より約5千万円減の1億2774万円、認知件数は10件減少し46件だった。

全国的に減少傾向とはいえ、依然深刻な事態が続いている。高齢者を狙った卑劣な犯罪の根絶に向け、これまで以上に啓発活動に力を入れたい。

手口別で被害額が最多だったのは、息子や孫をかたる「おれおれ詐欺」で約111億円。有料サイトの利用料金名目などの「架空請求詐欺」が約97億円で、これら二つの手口で被害額全体の7割近くを占めた。急増しているのが、警察官や金融機関職員などを名乗って信頼させ、キャッシュカードを盗み取る「詐欺盗」で

ある。被害額は前年より2・8倍増の52億1千万円に上った。

手口はこうだ。犯人は電話で「キャッシュカードが不正に使用されている。これから職員を確認に向かわせる」と説明する。自宅を訪れた犯人の仲間が「カードと暗証番号を書いたメモを封筒に入れて保管するように」と指示、隙をみて持参した別のカード入りの封筒とすり替えて盗む。

その後、犯人は現金自動預払機(ATM)で現金を引き出す。被害者は手元にカードがあると思い込んでいて、気づくのが遅れるケースが多いという。

県内でも同様の手口で被害が出ている。80代女性が昨年8月にカード3枚を盗まれ、約119万円が引き出された。2年前には1人暮らしの80代女性が1200万円をだまし取られた。電話担当、回収担当と役割分担するなど、詐欺グループの手口は巧妙化し

ている。被害を防ぐためには「キャッシュカードを他人に渡さない」「暗証番号を教えない」ことが重要である。五輪や災害義援金など社会の出来事に便乗したり、年金還付や給付金を口実にして金品をだまし取ったりするケースも相次ぐ。電話で資産状況や現金の保管場所を聞き出す「予兆電話(アポ電)」は全都道府県で確認され、東京などでは強盗被害も出ている。

不審な電話やメールがあった場合は詐欺を疑い、1人で判断する前に家族や警察に相談することが大事だ。県警は留守番電話や、かけてきた相手が確認できる番号表示機能などの活用を勧めている。

1人暮らしの高齢者には、近所の住民がこまめに声をかけたい。地域内で怪しい電話があれば、回覧板などで注意を呼びかけるのも有効である。地域全体で防犯意識を高めることが欠かせない。

社説を読み解く
(中学校・国語)

()中学校()年()組
氏名()

【問1】うそ電話詐欺による鹿児島県内の被害額はいくらですか。

1億2774万円

【問2】被害額の多かった手口を二つ書きなさい。

(おれおれ詐欺) (架空請求詐欺)

【問3】被害を防ぐために重要なことを二つ書きなさい。

(「キャッシュカードを他人に渡さない」こと)

(「暗証番号を教えない」こと)

【問4】地域で取り組めることとして、どのようなことが挙げられていますか、二つ書きなさい。

(近所の住民がこまめに声かけをすること)

(怪しい電話があったことを回覧板などで知らせ注意を呼びかけること)

【問5】うそ電話詐欺を防ぐためにどのようなことができますか、あなたの考えを書きましょう。

* 習っていない漢字とむずかしい言葉の解説 特殊詐欺(とくしゅさぎ) 被害(ひがい) 暫定(ざんてい)=はっきり決まるまで、仮に決めておくこと 傾向(けいこう) 依然(いぜん) 高齢者(こうれいしゃ) 狙(ねら)った 卑劣(ひれつ) 啓発(けいはつ)=気づいていないことを教え、みちびくこと 架空(かこう) 請求(せいきゅう) 占(し)めた 金融(きんゆう) 信頼(しんらい) 盗(ぬす)み 盗(とう)封筒(ふうとう) 隙(すき) 替(か)え 預払機(あずけばらいき) 思(おも)い込(こ)んで 遅(おく)れる 巧妙(こうみょう) 渡(わた)さない 義援(ぎえん) 還付(かんぷ)=行政などが、本来の持ち主に返すこと 状況(じょうきょう) 不審(ふしん) 勧(すす)め 怪(あや)しい

